



フォレンジックインタビューとは？

- 米国でのフォレンジックインタビューの 開発、発展と基本について -

2月23日（月）14時-17時半

北海道大学 人文社会科学総合教育研究棟 W517

講演：丸山 恭子 先生

2時～3時30分：ご講演
3時30分～3時50分：質疑応答
3時50分～4時：休憩
4時～5時：事例報告
5時～5時30分：コメント、質疑

丸山 恭子 先生

カリフォルニア州認定臨床ソーシャルワーカー
「カウンセリングルームまるやま」主宰

南カリフォルニア大学大学院ソーシャルワーク
修士課程終了後、ロサンゼルス郡精神衛生部子
ども家庭課外来クリニックに勤務し、主として被虐
待児とその家族へのサイコセラピーを担当。

日本に帰国後、「カウンセリングルームまるや
ま」を設立すると共に児童養護施設の心理職を勤
め、ひとりひとりに対応しながら、市町村の児童
虐待対応チームに対する研修も実施している。

- 大阪府子ども家庭センター（児童相談所）
での訓練の実際、工夫、問題点、困難点、
課題点
- フォレンジックインタビューの実施にとも
なう問題点、苦勞、良かった点
- OJTトレーニングの効果
- フォレンジックインタビューの効果をどの
ように評価しているか？
- 医療・弁護士との協働
- 実施体制

課題：法制度、体制が欧米とは異なる
日本においては、フォレンジックインタ
ビュー実施の目的を明確にする。

問い合わせ先：

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
北海道大学大学院文学研究科内

「司法面接法の開発と訓練」プロジェクト事務局

電話／FAX：011-706-2306 takeda@let.hokudai.ac.jp

